

俳句

丸窓に灯す明かりや初時雨

綿引 英子

霜除けの薔きつちりとその角度

中野 千賀子

鯖雲やひとときは墓石光りて

飯田 勇一

根を噛めるシヨベルカーなり春の風

竹内 幸子

日の差してゐるひとところ冬桜

田口 勝元

文芸しろさと

短歌

百歳まであと六年ねと子が言う
に明日をも知れぬ身天命に願ふ

山形 式妙

皆さまと佳き新年でありますよ

杉山 みちこ

古の時を刻みて伐られたる

大森 久子

永きいのちをたらおとふ名樹

萩谷 登喜子

吾が心豊かにあらむと願ひつ

佐川 あや

お迎えはいつでも良いが今はいや！

矢次 キヨ



川柳

巣ごもりでテレビが友の三が日

富田 多蔵

コロナ禍で目だけの人に様がり

車田 綾子

コロナ禍や元旦家族電話だけ

川原 清

注目を集めたいときは咳ひとつ

飯村 孝一



ゴーゴーと機音聞こゆる曇り
空見上げたれども機影は見えず

所 美恵子

うた一首生れて満ち足り寝に

渡辺 千紗子

点滴のボタリボタリに身を

信田 育子

預け自肅の正月まだ松の内

富田 育子

巣籠りの日々慰める旅鉄は

富田 佐智子

雪の鉄路の磐越西線

萩谷 登喜子

拭き上げし窓に初日の差し込

萩谷 登喜子



イスに掛け山を眺めて空眺
め真白い浮雲心癒さる

富田 欽子

民衆の位置に立つ日に見ゆるもの
を知らば生きたりき祈りとして

洋平

しろさとまち通信 地域おこし 通信

一城里町地域おこし協力隊 Vol.58

城里町地域おこし協力隊の連載、2月号は坂本裕二が担当します！



▲庭先カフェで籠を担ぐ坂本隊員(後方)



地域おこし協力隊
ホームページ

<https://shirosato-okoshi.com/>

問合せ

まちづくり戦略課

☎029-288-3111(内線228)

こんにちは。まちづくり戦略課地域おこし協力隊の坂本裕二です。協力隊として2年目の活動も残りわずかとなりました。現在は、新型コロナウイルス感染症に細心の注意を払い、対策を考えながら活動しています。そのひとつが、昨年11月に実施した「古内茶庭先力フェスティバル」です。一昨年の庭先カフェの内容をベースにしつつ、参加者が密集しないように茶畑の景観を歩いて楽しむ内容にしました。企画段階から、筑波大学渡研究室にアドバースをいただき、「チャレンジャー」と「古内茶生産組合」・「古内地区地域協議会」などの地域住民が主体となって実施できたことは、とても大きな成果だと感じました。12月には茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校・常磐大学・町が連携する「高大官連携事業」として、常北校生の進路に着目し、

「現役大学生・町役場職員から高校生へのレクチャー」を実施しました。そこでは、大学生活や仕事について伝える講話やグループワークを行いました。私も高校生、大学生の進路検討の参考にしてもらえれば、という気持ちで、これまでのキャリアや仕事への向き合い方の話をさせていただきました。また、2月18日には、デザイン専門学校の文化デザイナー学院(水戸市)の学生が「古内茶」をテーマに、PR企画とキャラクターデザインに挑戦します。今回の取り組みがきっかけとなって、町の特産品などで活用できるデザインができることを楽しみにしています。コロナ禍で、住民の方とお会いする機会が少なくなりましたが、随時地域おこし協力隊ホームページなどで情報を発信していますので、ぜひ、ご覧ください。